

昭和女子大学心理臨床相談室での感染予防対策 と ご利用時のお願い

昭和女子大学心理臨床相談室 2020年10月

1. 当相談室における感染予防について

新型コロナウイルス等の感染予防のため、次のような対策を行っております。

- ・ スタッフの検温（出勤前）
- ・ スタッフの手洗い、手指の消毒、咳エチケット、マスクの着用等の徹底
- ・ 受付窓口と相談室に飛沫感染防止のためのアクリルパーテーションを設置
- ・ 出入り口、相談室の扉や窓の開放による換気
- ・ 机、椅子、ドアノブ、相談用具等の消毒
- ・ 出入り口に消毒用アルコールの設置

2. 対面でのご相談、心理検査の実施について

- ・ カウンセリング・プレイセラピーなど対面でのご相談

感染リスクが高いとされる三密（密閉、密集、密着）になりやすいことから、スタッフはご利用者様から身体的距離をとって対応させていただきます。また、窓を開けて換気しますので、室温の管理が難しい場合がございます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ・ 心理検査

集中して取り組んでいただくために、扉や窓を閉めて行う必要があります。所要時間は、1時間半から2時間半程度になります。検査途中で随時喚起のための休憩を設けます。また、手の届く近い距離でかかわる必要がありますので、スタッフはフェースシールドを着用し、早めに休憩をとるなどの対策をして実施いたします。

3. ご利用にあたってのお願い

- ・ ご本人様および同居されている人の体調がすぐれない場合（強いだるさ、発熱、息苦しさ、味覚・嗅覚違和感など）は、事前にご連絡いただき、ご利用を控えていただきますようお願いいたします。
- ・ 大学入講時に正門でサーマルカメラによる体温測定を行っております。平熱より0.5度高い方、または37.5度以上の方には入講をお断りしております。
- ・ マスクを着用してお越しく下さい。
- ・ 受付に消毒用アルコールをご用意しておりますので、手指の消毒をお願いいたします。
（アルコールアレルギーのある方は、相談室入室前に手洗いをお願いいたします）
- ・ 受付で体温を測らせていただきます。37.5℃以上の方は、ご利用を見合わせていただきます。（非接触型の体温計をご用意し、スタッフが検温させていただきます）

なお、今後の感染拡大状況や、スタッフの体調の変化などによりましては、ご予約の延期や中止をお願いする場合がございますので、ご了承ください。

お気づきのことやご心配なことがございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。